

火災損害申告書

令和 年 月 日

消防署長様

申告者 住所
職業
氏名
電話 () -

火災番号 ※令和 年 号		
受付年月日 ※令和 . .	取扱印	

火災の損害を次のとおり申告します。

り災日時	令和 年 月 日 時 分 ごろ					り災物件と申告者との関係					
り災場所						占有者 管理者 所有者					
世帯員	続柄	氏 名		生年月日		続柄	氏 名		生年月日		
	本人										
り災前建物詳細	建築年月	年 月		年 月		修繕年月	年 月		年 月		
	購入年月	年 月		年 月		増改築年月	年 月		年 月		
	建築金額	円		円		修繕金額	円		円		
	購入金額(土地代除く)	円		円		増改築金額	円		円		
	用途	構造	階数	屋根	外壁	建築面積	延べ面積	居住者内訳		世帯数	人員
り災建物	り災区分	り災したところ				り災床面積 (㎡)		損害見積額			
	焼き										
	消火										
	爆発 その他										
り災物品	品名	数量	り災の区分		経過年数	購入金額	損害見積額				
			焼き・消火・爆発・その他								
			焼き・消火・爆発・その他								
			焼き・消火・爆発・その他								
			焼き・消火・爆発・その他								
			焼き・消火・爆発・その他								
損害総合計	建物損害額		物品損害額		総損害額						
	(円)		(円)		= (円)						
火災保険	契約会社名	契約の種別		契約年月		契約保険金額					
		不動産・動産									
		不動産・動産									
摘要											
	(連絡先がり災場所と異なる場合は、この欄に場所、電話番号を記入してください)										

(注意) 記入に際しては、裏面の注意事項、記入要領を必ずお読みください。

注意事項

- 1 この申告書は、火災による被害財産の調査のため消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 建物がり災したときは1棟ごとにこの申告書を作成してください。
- 3 ※欄は記入しないでください。
- 4 この申告書は、り災した日から7日以内に提出してください。
- 5 虚偽の申告をされたときは、消防法の規定により罰則を受けることがあります。

記入要領

- 1 申告者の職業は、具体的に記入してください。
(例) タクシー運転手、化粧品セールス、寿司屋経営、小学校教諭
- 2 り災物件と申告者との関係、り災物品のり災の区分、保険の種別は該当するものに○で囲んでください。
- 3 り災前建物詳細欄の言葉の意味は、次のとおりです。
「用途」 -----住宅、物置、店舗等、建物の使用目的のこと。
「構造」 -----木造、鉄骨造、準耐火、耐火等、建物構造のこと。
「屋根、外壁」 -----瓦、モルタル等、その材質のこと。
- 4 り災区分欄で、焼き・消火・爆発・その他の意味は次のとおりです。
「焼き」 -----燃えたもの、熱で壊れたもの、煙で汚れたもの。
「消火」 -----消火の水で濡れたもの、消火のために壊れたもの。
「爆発」 -----爆発により壊れたもの。
「その他」 -----搬出又は避難の際に壊れたもの。
- 5 建物以外（へい類、看板、物干し場等）は、り災物品欄に記入してください。
- 6 世帯員の欄には、同居人も含めて記入してください。
- 7 その他不明な点がありましたら
()消防署()電話(-)担当()
へお問い合わせください。